

南山の風

春爛漫！桜色の入学・入園となりました！



八事小学校
入学おめでとう♪
シオリさん
ココハさん
サクヤさん



駒方中学校入学おめでとう♪
カオリさん
トモヨさん
ヒナさん
シンノスケくん
ユイトくん



高校合格&入学おめでとう☆
コウノスケくん
モモコさん

幼稚園 入園おめでとう♪
ルミちゃん
ゼイトくん
ヒカルちゃん

地球温暖化の影響なのでしょうか…満開の桜は今年も入学式・入園式まで待っていてくれず、桜の花びらが舞い、地面をピンク色に染める中での入学・入園を迎えました。今年は、小学校に3名、中学校に5名、高校に2名、幼稚園に3名が入学・入園し、それぞれが新しいライフステージでのスタートを迎えました。なお、昨年度は15名の子どもたちが年間皆勤(無遅刻・無欠席)を達成しました。4月1日の全体集会にて皆勤賞の15名を表彰するとともに、

高校に進学する2人の15歳に法人本部からのお祝いを贈呈しました。今年度も規則正しい生活をし、健康に気を付けて、昨年度以上に多くの子どもたちに皆勤を目指して欲しいと思います。

職員に年度初めのインタビュー！

【2015年度を迎えて、この1年の目標や抱負は？】

- ◆ 児童の安心安全を心掛けていきたいと思います。特に健康に気をつけ、事故のないようにしていきたいです。また、性教育も進めるとともにライフカードを使用して夢のある人生を子ども自身が思い描けるように育てていきたいと思います。 ◆ 報連相をしっかりとしていきたい
- ◆ 担当児童が足りないものや抱えている問題・課題を明確にして、適切な支援ができるように先輩の意見や行動を参考に子どもと関わっていききたいです。
- ◆ 南山寮防災マニュアルを作成する ◆ 健康を維持する ◆ 本を5冊以上読む
- ◆ 子ども一人ひとりの意見・言葉に耳を傾け、全員が安心安全に楽しく過ごせる部屋作りをする
- ◆ 職員との会話を大事にし、個々の想いをできる限り把握し、上や下にそれを伝えていく「通訳」でありたいと思います。自分自身と同様に、職員や子どもにその人の役割を与えてあげられる、そうすることで居場所を作ってもらえるようになりたいです。そうすることで、責任感も芽生えるはず。
- ◆ 子どもたちが安心して落ち着いて生活できる場を作っていきたい
- ◆ 専門職として、社会福祉士、精神保健福祉士を目指せる人を増やしていきたい
- ◆ 自身のやるべき点の確立 改善すべき点の改善 ◆ 気持ちの面でブレない自分であること
- ◆ 子どもたちと楽しむことはとことん楽しみ、悲しむときはとことん悲しみ、全力で子どもたちと接すること ◆ 子どもにとって今何が大切かを考え、子どもに関わる
- ◆ 食育を通して野菜作り、収穫、調理実習を日々少しずつ子どもと関わること、子どもの意見を聞く
- ◆ 子ども同士批判し合うのが現状だが、相手を「助けてあげよう」と思いやりをもって動いてあげられる子どもに少しでも近づきたい ◆ 残食がなくなるようにおいしいご飯を作る
- ◆ どんな小さな問題でもすぐに連携をとり、解決できる体制を作りたい
- ◆ 残飯ゼロを目指して、化学調味料をなるべく控えて、安心・安全な食事を提供する
- ◆ 体調管理に気をつけ、休まず勤務する ◆ 優しい心を持つ子に育てたいと思っています
- ◆ 一人ひとりの欲求に目を向け、関わっていつてあげられるようにしたい。また、環境整備が一番大切なことだと考えているので、その時々に合わせて環境も作っていききたい。
- ◆ 子どもとの関係性作り、一緒に組む職員さんとチームとして連携してがんばりたいです。
- ◆ 自分自身で限界を作らず、できたことに満足せず、次へ次へと繋げていきたいです
- ◆ ヒヤリハットを少なくしていき、事故を防いでいけるように目を離さないように職員で連携する
- ◆ 「エライ」「いい子」など分かりづらい表現で伝えるのをやめ、「～してくれて嬉しい」など、うまくできたら一緒に慶び、良い行動には感謝の言葉で伝えられるようにする

【小規模グループケアの独立性・独自性を担保するために必要なことは？】

- ◆ 各ユニットでの食事作り ◆ 名義連行事や招待行事への不参加
- ◆ 勤務を各ユニット内でまわす ◆ 中央扉の完全閉扉 ◆ 厨房食⇒部屋食
- ◆ それぞれを1つの家と考え、各ユニットの玄関にチャイムを設置し、行き来の際にはチャイムを鳴らして挨拶をして入るようになる ◆ ユニットのリフォーム
- ◆ お金の面も含めて部屋ごとに運営管理していく ◆ 固定の職員と独立した建物
- ◆ 小規模GCユニットで生活する子どもたちと話し合い、独自の生活のルールを決めていく
- ◆ 男女ペア（職員）で人の入れ替えをしない配置（2.5人か3人の人員配置）
- ◆ ひとり子どもと多く関われるようにして、個別支援をしていけたらいい
- ◆ 各部屋でのルール作りは大切だが、ここは子どもに譲ってはいけないという最低限のルールは全職員で決める必要があると思います。 ◆ 職員間のチームワーク
- ◆ 小学校の低学年（男子）との関わり方を学ぶ、時に教え、時には息抜きをさせてあげられるような、子どもにとって安心できる存在になりたいです。 ◆ 料理を一緒にする機会を増やす
- ◆ より家庭に近い生活体験 ◆ 一人ひとりが伸び伸びと生活できる空間

- ◆ 家庭的な姿（雑巾を縫う、居住スペースの手入れをする etc）を職員のルールとして見せるようにする ◆ お風呂、トイレ、部屋などをできれば小さくし、落ち着いた環境作り
- ◆ 南山寮全体のルールと方針（外出、帰寮時間、ゲームの時間など）が必要 ◆ 職員の固定
- ◆ 完全ユニット化に移行し、各ユニットにリーダーを立て、より専門的な支援をしていける人材を適所に配置する

【もしも南山寮で動物を飼うとしたら、どんな動物がいいか？】

- ◆ 学童ごとに部屋内で話す鳥を飼い、半年に一度各部屋の鳥を集めてお話大会をする
- ◆ 玄関に大きな水槽を置いて、海水魚を飼う ◆ ユニットごとの玄関に金魚
- ◆ 職員と子どもで犬（柴犬）を飼い、担当を決めて散歩・エサやり等をする。
- ◆ 熱帯魚の飼育 各部屋で当番制でエサやり、水換えをする。熱帯魚に話し掛ける
- ◆ 犬が飼いやすく、人になつくので現実的。毎日散歩し、世話をすることで子どもに生き物を育てることを教える場になる。また、癒し効果もあり、アニマルセラピー的な役割も果たす
- ◆ 南山寮の玄関で犬を1匹飼い、ユニットの当番制で散歩などのお世話をする
- ◆ 将来的に地域小規模ができた時に子どもと一緒に考えてはどうか。
- ◆ 優しい大型犬を各ユニットで飼いたい。 ◆ 小動物よりは大きめの動物
- ◆ 南山寮の玄関でヤギを1頭飼い、ユニットの当番制で散歩やエサやりをする
- ◆ 1F階段から3Fの天井まで吹き抜けの水槽を作って、熱帯魚を飼う（プチ水族館）。エサやりは学童ユニットで分担して行う。 ◆ 各部屋が責任をもって犬を飼う
- ◆ 動物もしいと思いますが、同じ敷地内にある老人の人々との関わりなどは、いたわり合う心がお互いにリハビリになり、人を愛することができるようになると思います。
- ◆ 鶏を飼って卵を産ませる ◆ パピーウォーカーをする
- ◆ ニワトリを飼って卵を収穫して、調理して食べ、「食」への関心を高める
- ◆ ハムスターや小鳥をユニットごとに部屋内で飼い、子どもたちが世話をする
- ◆ 衛生的なことも考えた上で子どもたちの意見を反映し、子どもたちが世話をすることができるような動物を飼うのがいい
- ◆ カメ、ハムスターなど、可愛くて優しく病気になるにくい、アレルギー性のない動物
- ◆ 中型犬ぐらいの犬を飼い、南山寮の玄関で各当番で散歩やエサやりをする
- ◆ ユニットごとに室内で犬を1匹ずつ飼う。見つめ合う犬と人の関係による安心ホルモン「オキシトシン」の増加を図る。 ◆ 盲導犬のパピーウォーカーとなって子犬を預かり大切に育てる
- ◆ 南山寮の玄関で犬を1匹飼い、当番制でお世話の体験を通し、生き物を育てることの難しさを学ぶ

南山寮にキッチンカーがやって来た！

守山区に本社のある日本ゼネラルフード株式会社様より、子どもたちにとっても職員にとっても嬉しい申し出がありました。なんと、南山寮にキッチンカーがやって来て、子どもたちの好きなおやつをその場でライブ調理してくださるとのこと。日本ゼネラルフード様からいただいたメニュー（ハンバーガー、ホットドッグ、たい焼き、メロンパン、アップルパイなど）をもとに、「どのおやつが食べたいか」を子どもたちに嗜好調査した結果、南山寮の子どもたちが選んだのは『たこ焼き』でした。

昨年11月から毎月1施設を選んでのボランティア活動とのことで、今までの施設はどれもハンバーガーを選択されたそうです。



4月19日(日)、南山寮の幼児ユニットの前に、可愛らしいペンギンの絵が描かれた大きなトラックが停まりました。トラックの側面が大きく開くと、そこには「たこ焼き屋さん」が出現。この日のために、日本ゼネラルフード様のスタッフが11名も来て下さいました。3名の調理スタッフは、たこ焼き作りに専念され、他のスタッフの方々は幼児さんや低学年の子どもたちの遊び相手として、濃密な時間を過ごして下さいました。

3時のおやつ時間、お待ちかねの「たこ焼きタイム」がやって来ました。大きなたこ焼きが8個も入ったパックを一人ずつ受け取ると、人目もはばからずに大きな口を開けて、アツアツのたこ焼きを放り込んでいました。あちこち

から「おいしい〜!」の声。それに続いて「もっと食べた〜い!」「おかわりしていいの?」との正直な声。日本ゼネラルフード様はそんな子どもたちの欲求を見越してか、すでにおかわり分のたこ焼きを準備して下さいました。普段できたてほやほやでアツアツのたこ焼きを食べる機会のない子どもたちは、おいしいたこ焼きを遠慮なくおかわり…そのニコニコの笑顔の口元には、ソースと青のりがべったりとついていました。



たくさんの方々にしっかりと遊んでもらった幼児さんも、美味しいたこ焼きをお腹いっぱい食べることができた小中高の子どもたちも、大満足!最後に、日本ゼネラルフードの皆さんと一緒に記念撮影!この日のために打ち合わせ等の準備を重ね、当日も12時から準備を始めて、子どもたちに美味しいたこ焼きとステキな一日を下さった日本ゼネラルフードの皆様へ感謝です。

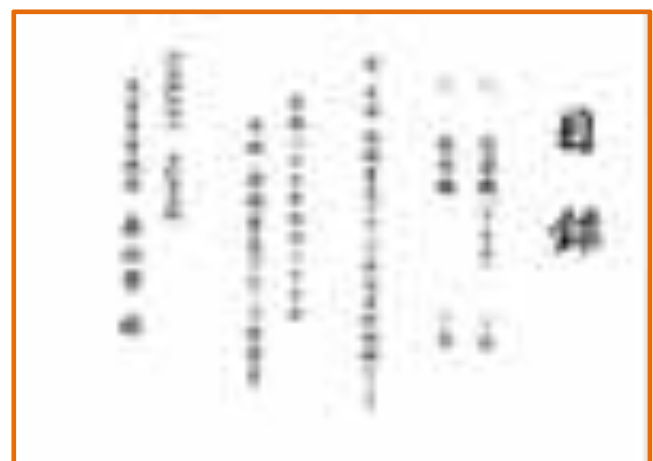


東芝さんより洗濯機 & 乾燥機の寄贈!

株式会社東芝中部支社様が設立100周年記念事業として、児童養護施設への東芝製の家電製品の寄贈をして下さることとなりました。職員と相談の結果、全自動洗濯機と衣類乾燥機をリクエストさせていただいたところ、要望にお応えいただき、4月3日に新品の洗濯機と乾燥機が届けられ、女子ユニット【コメット】にて早速フル回転で稼働しています。

4月27日、南山寮にて贈呈式が挙行され、東芝中部支社の松原総務部長から右の目録をいただきました。

贈呈式の前に、施設内をご案内申し上げたところ、南山寮ではこれまでも東芝製の洗濯機や乾燥機を利用させていただいていることがわかり、松原総務部長と担当の峯岸さんにも喜んでいただけたようです。いただいた洗濯機と乾燥機は、子どもたちの衛生管理に大きな貢献をしてくれています。



南山寮のニューフェイス紹介！

4月から以下に紹介する3名の女性が南山寮のケアスタッフとして加わりました。市野指導員は、昨年6月より産休代替職員として幼児ユニットを担当してくれていました。落合保育士は、大学の保育士実習を南山寮の幼児ユニットで経験し、実習後の1年半をそのままアルバイトとして働いてからの採用です。大島保育士は、1年間保育園での嘱託保育士を経て、南山寮に来てくれました。得意のサッカーやフットサルを活かし、女子フットサルチームの強化コーチも担当してもらいます。



※ 前頁の記事に関連して

東芝中部支社様 寄贈式 ↓



八事村中心しぎ散歩 ② 隼人池の“隼人”ってなあに？

3月26日、隼人池で「昭和区の今昔～変わりゆくまちの姿～」と題された銘板の除幕式がありました。銘板には昭和37年頃の隼人池の写真が載っていました。ちなみに、愛知育児院には明治後期か大正初期に撮影した隼人池の写真が残っています。「隼人池ってどうして“隼人”なの？」と質問されることがよくあります。隼人池は、1646年、尾張徳川家の家老で犬山城主であった成田隼人正正虎が農業灌漑用水として開削させたもので、その名にちなんで隼人池と呼ばれるようになりました。隼人池は南山寮の子どもたちを明治42年から見守り、桜やマメナシをはじめ四季折々の風景、その静かな湖面が癒しを与え続けてきてくれました。ちなみに、成田隼人正正虎のお墓は、愛知育児院の院児の墓と同じ、平和公園の白林寺墓地にあります。



コラム 南山隼人 「桃太郎」 見方を変えて読んでみると…

愛知県西尾市の教師が、独自の道徳の授業に取り組む様子が新聞で紹介されていた。誰もが知る昔話の「桃太郎」を通して「正義」について考える授業だ。

「桃太郎は鬼退治に行くけど、鬼がどんな悪いことをしたかは一切書かれていません。…桃太郎と家来になったイヌ・サル・キジは何のために戦ったのでしょうか。」と生徒に問いかけると、次々に手を挙げて答える。「村人たちに英雄とたたえられたからです」「お宝が欲しかったから」「家族のため」。答えが出尽くした後、教師はポスターを取り出す。小さな赤鬼が涙をぬらしている絵。「ボクのおとうさんは、桃太郎というやつに殺されました。」と書かれている。「子鬼は桃太郎のことをどう思っているのかなあ。」と問いを投げ掛ける。「村人たちには正義のヒーローでも、子鬼には日本一の悪者。立場によって見方は変わるんだね。本当の正義って、何だろう。」

小中学校の「道徳」が教科化が進んでいる。道徳の教科化は、首相肝いりの教育再生実行会議が、いじめ問題への対応策の一つとして提言。中央教育審議会の答申を受け、文部科学省が教科化に向けた新学習指導要領を告示したばかりだ。小学校では2018年度、中学校は19年度から実施。道徳も他の教科と同じく、国の検定教科書が使われ、児童生徒は記述式の試験で評価される。国による価値観の押し付けや、評価を気にして児童生徒が多様な価値観を損ねないか懸念する専門家も多い。

さて、今回の授業は桃太郎の行動の是非を問う内容だが、実はかの福沢諭吉も自身の子どものために書いた『ひびのおしへ』の中で桃太郎盗人論を展開していることを知った。「もつたるふが、おながしまにゆきしは、たからをとりぬくといへり。けしからぬことならずや。たからは、おにのだいじにして、しまいおきしものにて、たからのぬしはおになり。ぬしあるたからをわけもなくとりぬくとは、もつたるふは、ぬすびとともいふべき、わるものなり。…たからをとりてうちにかへり、おぢいさんとおばさんにあげたとは、ただよくのためのしごとにて、ひれつせんばんなり」さらに、文豪・芥川龍之介は、福沢諭吉の桃太郎盗人論を参考にし、わざわざ「桃太郎」という小説まで書いて鬼の濡れ衣をはらしている。桃太郎の姿が、日の丸の鉢巻に陣羽織、幟を立てた姿になり、イヌ、サル、キジが「家来」になったのは明治時代からこのこと。原話では戦装束などしておらず、動物たちも道連れであって、上下関係もなかった。明治の国家体制に伴い、周辺国を従えた勇ましい日本国の象徴にされてしまい、時の権力者による物語のすり替えが行なわれた。それに怒った福沢諭吉が「桃太郎」批判に及んだものだ。たかが昔話だが、なんと奥の深いことか。(リョウチヨウ)

平成27年 5月号

(月刊：毎月1日発行)

<明治19年10月 第三種郵便物無認可>

発行：社会福祉法人 愛知育児院
児童養護施設 南山寮

編集責任者： 施設長 山田 勝己

〒466-0835 名古屋市昭和区南山町5番地

TEL (052)831-3750 FAX (052)835-7483

e-mail: nanzanryo.1909@space.ocn.ne.jp